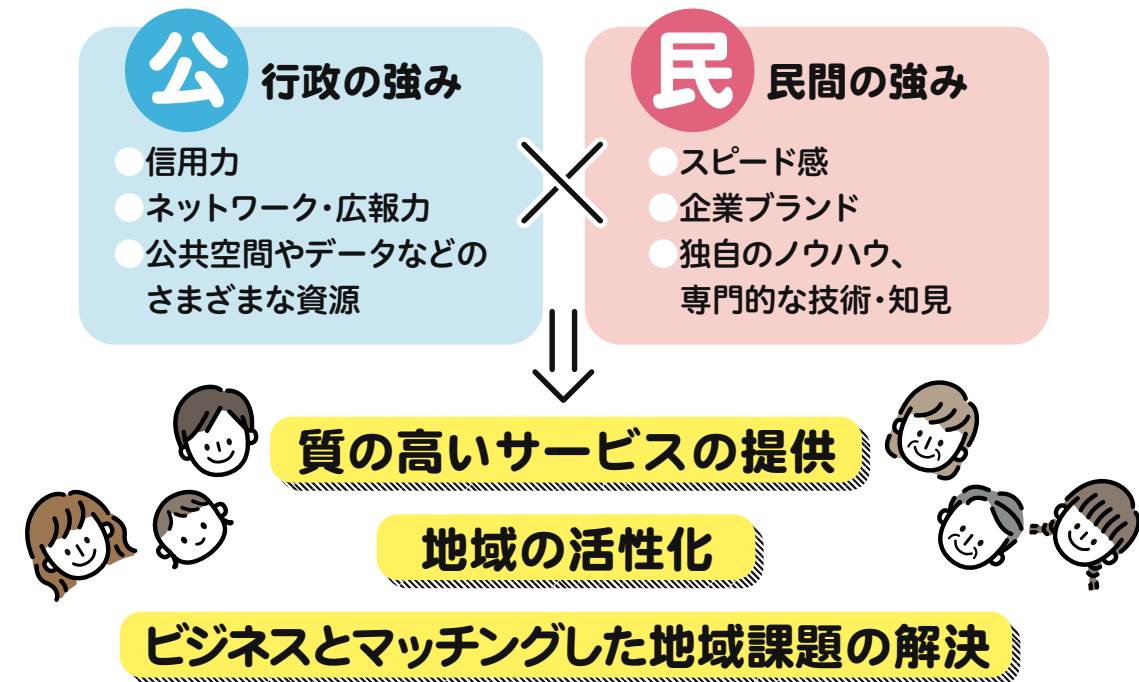


公民連携で生まれる 新しいサービスのかたち

私たちを取り巻く環境は日々、目まぐるしく変化しています。こうした状況で区と民間企業、大学などとの連携による、双方の強みを生かした新しいサービスが生まれています。



大田区の公民連携は
区民・行政・民間
にとって
三方良し



身近にある公民連携の取り組みの一部を紹介します



災害対策をより身近に

株式会社イトーヨーカ堂



店内フロアに、防災グッズの販売や区の防災情報を発信する防災コーナーを設置。来店者の防災意識の啓発につながっています。



地域に愛され、社会へ貢献したい

イトーヨーカドー大森店 店長 西川晃石さん

当店は1日約1万人の方が来店されます。食料・生活用品などお客さまが必要とするものを提供できることだけでなく、店内放送やポスターの掲出といった、地域のお客さまに対する情報発信力も持ち合わせています。そんな当店の強みと、行政が持つ信用力をかけ合わせるとより良いサービスができると思います。

これまで大田区とはさまざまな取り組みを行ってきましたが、「防災」もその一つです。近年、自然災害が多い中で、防災商品の品ぞろえに力を入れてきました。これに加えて、区が持つ防災情報を販売コーナーで発信することにより、新しい啓発の仕方になりました。お客さまの防災への関心もより高まり、これまで以上に防災に関するお問い合わせも増えました。このような、お客さまに親身になったサービスは、当店とお客さまとの距離が近くなり、信頼性の向上にもつながっていると感じています。

今後も区と連携して環境、子育て、健康などのさまざまな取り組みを行い、社会貢献できる店舗を目指していきたいと思ひます。



トップレベルの
スポーツ試合を体感
日本生命保険相互会社



昨年、大田区総合体育館で行われた卓球リーグ・日本生命所属チームの試合に区内在住・在勤・在学の方を無料招待。一流選手によるレベルの高い試合に触れることで、スポーツへの関心を高めました。



スポーツ観戦は、みんなで応援し感動を共有する機会となっています

深い学びの実現
国立大学法人東京工業大学



社会、歴史、人権など多様なテーマについて学ぶ場「おおた区民大学」。専門的な知識や技術の提供により、深い学びの機会が生まれています。



20年以上にわたり開催している「おおた区民大学」今後も自然科学をテーマにした講座を予定しています

おおた区報を
より多くの方へ
株式会社セブン・イレブン・ジャパン



生活に身近なコンビニエンスストアで区報を手にとることができ、行政情報に触れる機会を増やしています。区内セブン・イレブン店舗内に専用ラックを設置しています(一部店舗を除く)



事業者の皆さんへ

大田区公民連携デスクでは、連携による取り組みのご提案をお待ちしています。ビジネスとマッチングした地域課題の解決を考えてみませんか。



詳細はコチラ

問合せ先 大田区公民連携デスク(企画課政策・企画担当内) ☎5744-1538 FAX 5744-1502

新型コロナウイルスワクチン接種の情報を4面に掲載しています